

# 平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年 8月 5日

上場会社名 日本板硝子株式会社 (コード番号：5202 東証第1部 大証第1部)  
(URL http://www.nsg.co.jp)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 出原 洋三  
問合せ先責任者 役職名 総合企画室 広報グループ 担当部長 氏名 青池 寛 TEL (03)5443-9505

## 1. 四半期業績の概況の作成にかかる事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法と最近連結会計年度に： 有  無   
おける認識の方法との相違の有無

## 2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

### (1) 売上高（又はこれに相当する事項）

(百万円未満切り捨て)

	百万円	%
16年3月期第1四半期	63,837	-
15年3月期第1四半期	-	-
(参考)15年3月期	280,100	

(注) 売上高（又はこれに相当する事項）は、当該四半期までの累計値です。

当該四半期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

### [売上高（又はこれに相当する事項）に関する補足説明]

	硝子・建材事業	情報電子事業	その他の事業	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	40,065	11,356	12,416	63,837
(参考)15年3月期	176,433	49,754	53,912	280,100

#### 硝子・建材事業

建築用ガラスやサッシなど建築材料事業は、国内では、住宅、ビルの着工数が前年同期比で減少したものの、高機能ガラスの売上が増加しました。海外では、ベトナム等での市況の悪化により売上が減少しました。

自動車ガラス事業は、国内自動車生産台数が堅調に推移した結果、売上はほぼ前年並となりました。

#### 情報電子事業

光関連事業は、事務機器用光部品が大幅に売上を伸ばしましたが、通信用レンズは依然低調に推移しました。ガラス磁気ディスク事業は、ノートパソコン向けは堅調に推移したものの、デスクトップパソコン向けディスクがアルミ製に切り替わったことにより、売上は減少しました。

ディスプレイ事業は、携帯電話向けガラス基板を中心として売上は前年並となりました。

#### その他の事業

昨年8月に長繊維事業を営業譲渡したため全体では前年対比で売上が減少しましたが、これを除くと、光輝性顔料向けのフレークを中心に、特殊ガラス繊維製品が好調に推移しました。

### (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象 該当する事項はありません。

## 3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

### [業績予想に関する定性的情報等]

当該四半期は、季節的要因もあり全般に厳しい状況でしたが、第2四半期以降での増収を見込んでいることから現時点では業績予想に変更はありません。

### [業績予想に関する注意事項]

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上